

進学合宿中の3年生から 一つでも多く試合を見せたい



▲進学合宿会場で英語の講義に臨む3年生

ともに戦う仲間へのエール



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号



今年の進学合宿は、朝型学習をする人が増えてきたことから、早朝4時50分から自習用の部屋が開放されている。ここで自習の習慣を身につけ、毎年「真の受験生になれた」という人も少なくない。自学の時間以外に外部講師による講演や模擬試験も組み込まれている。

進学合宿参加者のなかでも野球部の甲子園出場への関心は高い。皆、中心選手の多くが所属する同じ3年生であることも

8月1日から5日までの4泊5日の日程で3年生進学合宿が行われた。会場でも、野球部にエールを送る声が聞かれた。

今年、県予選から試合を観に行っている人も少なくない。「甲子園で暴れて、一つでも多く試合を見せたい」との声も寄せられた。

合宿の次は応援。どちらにも力が入っている。

●合宿参加者 応援の声●
森野水葵さん(3-4)

「優勝したときは興奮した。甲子園でも勝ってほしい」

那須のどかさん(3-2)

「いつも自分が部活動をしているときに、野球部ががんばっているのを見て、元気をもらっています」

末吉杏朱さん(3-2)

「みんなが全国の舞台で活躍するのを見るのが楽しみです。頑張ってください」



進学合宿とは

進学合宿とは、10年前から本校で行われている希望者参加の3年生の夏の行事。

今年は、約160名が参加し、びわ湖大津プリンスホテル(写真右)のコンベンションホール(写真上)にて行われた。自学自習のペースをつかむため実施される。

